

# e-learningを利用した看護大学 大学院・継続教育システムの 構築と評価

中山和弘

平成18年度聖路加看護大学看護実践開発研究  
センター研究成果発表会

日時: 8月1日(火) 13:00 ~ 17:00

場所: アリス・C・セントジョン・メモリアルホール

# 研究目的

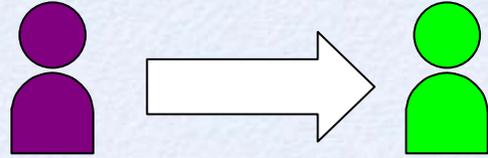
- 看護系の大学院、卒業後の継続教育におけるe-learningの活用の可能性を探るために、
- 従来の対面授業と比較しe-learningの**特徴**を知る
- 国内外の**導入**の状況を知る
- 全国の看護職を対象に、e-learningの**ニーズ**調査
- 看護学生と臨床看護師によるe-learning受講後の**プログラムの評価**
- 対面授業とe-learningの**学習成果**の違いを検証するための**無作為化比較試験**

# 従来の対面授業のデメリット

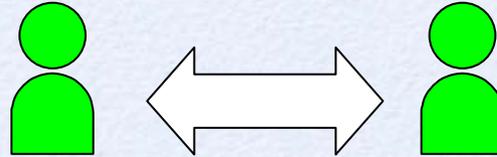
- 受講生がそのレベルに合っていないと学習効果がほとんどない……事前評価は？
- 聴講形式が中心で、受け身になりやすい
- スケジュールが教育者主体で学習者のペースではない……仕事を持つ社会人！
- 1回でも欠席すると、モチベーションが低下し、その遅れを取り戻すことが困難
- 他方、出席だけで満足しやすく、学習成果に差
- アイコンタクト、ボディランゲージ……？

# 対面授業とeラーニング

講義

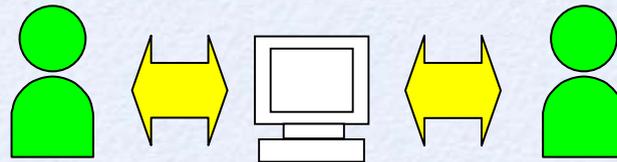


体験学習

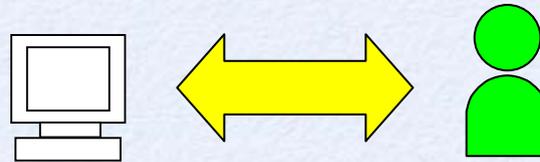


対面授業

協調学習



双方向学習



eラーニング

情報提供



⇄ インターネット

💻 中に教員も

# eラーニングの実際

Macromedia Breeze のログイン - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 移動(G) ブックマーク(B) ツール(I) ヘルプ(H)

http://breeze.slc.n... 移動 保護

Macromedia Breeze のログイン

  
macromedia  
**BREEZE**

ログイン  
パスワード

ログイン

パスワードを思い出せない場合 [ここをクリック](#)  
ヘルプが必要な場合 [トラブルシューティング](#)

Copyright © 2001 - 2004 Macromedia, Inc. and its licensors. All rights reserved.

ログイン: slcnstudent  
パスワード: ma5yp2kd

# eラーニングのメリット

- コンピュータとネットワークを利用した教育・学習
- Web接続のパソコンがあればいつでも、どこでも
- 理解度を確認しつつ(即時フィードバック、進捗把握)、学習者のペースで、わかるまで、**個別的、主体的、自立的、効率的**に
- 更新された**最新教材**にアクセス可能
- 教材を公開し学びたいことを**自由に検索**が可能
- 学習情報を共有する**学習コミュニティ**形成が容易
- 公開により興味や関心のあることを**誰でも学習**可能

# eラーニングによる変化 学習者中心

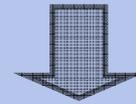
- 教えるから学ぶへ 教育者中心から学習者中心へ
- 多様な学習者への個別対応の時間拡大  
基礎知識、テストは効率化して時間確保
- 競争と連携(講師・授業共有)  
「どこで」より「誰から何を」学ぶか
- 学習コミュニティ形成  
組織、専門職は、学習による質の保証をアピール  
社会貢献として市民とともに生涯学習
- ウェブサイト + ブログ + 掲示板 市民の知の共有
- 無料の百科事典 Wikipedia 市民がつくる

# 2つのブレンデッドラーニングへ

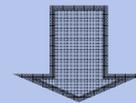
対象と内容にあわせて

- 対面授業
- シミュレーション(CBT)
- WBT
- 協調学習
- 遠隔講義
- 図書、メディア、データベース

eラーニング  
(予習、入門)



対面



eラーニング  
(復習、試験)

# 大学でのeラーニング導入の現状

- 2001年大学設置基準改正、半分弱の単位(通信制は全部)インターネットで履修可能、2003年大学院も
- 日本オープンコースウェア・コンソーシアム  
授業を無料一般公開 自由かつ制約のない「知」
- MIT(マサチューセッツ工科大学)全教材を無料公開
- ワシントン大学看護学部 Donna Berry(がん看護と健康情報学) 何らかのかたちでeラーニング化は100%
- 大阪府立大学 看護実践能力の獲得を支援するe-Learning

# 看護でのeラーニングの調査結果

- 全国看護師が対象のeラーニングのニーズ調査で受講希望は7割以上
- 希望科目として多いものは「看護診断」「研究法」など。基礎教育 + 大学院教育の必要性。
- 看護学生と臨床看護師が対象の調査では、ほとんどが「役にたった」「今後活用したい」と良好な評価
- 問題は「教員の交流がないことへの不安」「プログラムの質への不安」「単位取得や資格とのつながり」「学習(教員)の質への不安とキャリアの保証
- eラーニングと対面授業の学習成果はほぼ同等、修了率はむしろeラーニングのほうが高い。

# 導入の課題

- 組織の存在意義としての**戦略的ゴール**の明確化  
トップの全体調整、マーケティング、研究体制
- **コスト削減**より**離職(休退学)減少**、**ケアの質の向上**
- **専門部門設置** 教員のボランティアでは不可能
- **教育工学者** Instructional Designer導入
- **教員の処遇** 新たなサポートが不可欠
- **看護情報学者の養成**
- ネット上の看護系の**無料学習コンテンツ**の不足  
**助け合い精神** ナースに役立つ種類のサイトとは？

# 結論

- eラーニングは社会の学習のありかたの変化
- 社会変化のための大学にこそ必要  
「知」「情報」の囲い込みの崩壊 Google !
- 導入のための課題は明確になってきている
- その障害(バリア)を取り除くための検討が必要
- 教育者中心の研究 < 学習者中心の研究が大学の存在理由であることの確認
- 学習者中心 = 市民中心への転換